## 糖尿病・代謝内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者様へ

## 「糖尿病・代謝内科診療記録を利用したデータベースの後ろ向き解析」研究への協力のお願い

糖尿病・代謝内科では様々な成因で起こってくる糖尿病や脂質異常症、メタボリック症候群、肥満症、内分泌疾患、あるいは高血圧症などの多岐にわたる疾患の治療を行うとともに、これら疾患から生じてくる様々な合併症（糖尿病細小血管障害や冠動脈疾患・脳梗塞などの大血管障害など）や付随してくる疾患（脂肪肝や認知症など）の早期発見とその予防、進展抑制を目指した診療を行っております。これらの診療には諸外国および日本における様々な大規模試験の結果を踏まえての診療を行っておりますが、今後解決されていない問題も多く残っているのが現状です。

このような問題を解決するためには、前向き研究（研究目的を決定した後、患者さんをいくつかの群に振り分けさせていただき、その経過を追わせていただく研究）が重要ですが、その基盤として後ろ向き研究（今までの臨床データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を見させていただく研究）が非常に重要です。

それゆえ、当科では、東大病院糖尿病・代謝内科を受診された患者さんの以前のデータを解析いたします。対象となるデータは、診療録（問診や診察所見など）、投薬内容、疾患名、処置内容、検査結果（血液検査、尿検査、便検査など）、生理検査（心電図やエコー検査など）、放射線検査（一般X線検査やCT検査、MRI検査など）、糖尿病の病態や成因に関する特殊検査、そして他科に依頼しての眼底検査やトレッドミル検査・冠動脈造影検査、など、日常診療において行われているデータです。

この研究は過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。この研究は東大病院糖尿病・代謝内科に所属する研究者によって行われ、解析にあたっては、個人情報は匿名化させていただき、その保護には十分配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しては、個人の特定が可能な情報はすべて削減されます。本課題の研究責任者・研究分担者の利益相反は、東京大学医学部利益相反アドバイザリー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っております。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの使用に同意されない場合には、下記連絡先にご連絡頂きたいと思います。なお、本研究は、当院の倫理委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来的に当科における診療・治療の面で不利益をこうむることはありませんので、ご安心ください。

2026年6月3日

研究責任者　東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科　山内　敏正
連絡先　　東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科　青山　倫久
電話：03-3815-5411　内線 33111